



教育センター・育成センター所報

GALILEI



晩秋を彩る群馬県・妙義山（2012.11.10）

CONTENTS

- 今月の巻頭言 P 1
 - ★夢の実現に向けて ～私自身の経験から～
教育センター運営委員
柏崎市立比角小学校長 小暮 哲郎
- 教育センターだより P 2
 - ★アクセス（教育研究班） P 2
 - ★プロジェクト K（科学技術教育センター） P 8
 - ★心の窓（教育相談班） P 12
- 12月の行事予定表 P 14
- 所員随想「つれづれ」 P 14
 - ★四季を通じて ふれあいルーム指導員 須藤 直子

平成24年11月号

柏崎市立教育センター 柏崎市青少年育成センター

夢の実現に向けて ～私自身の経験から～

教育センター運営委員
柏崎市立比角小学校
校長 小暮 哲郎



37年間の教員生活が、まもなくゴールを迎える。私が目の前の子どもたちにかけてきた願いは、「大きな夢をもち、その実現に向けあきらめないでチャレンジしてほしい」ということだった。では、私自身は夢の実現に向け、どうチャレンジしてきたのだろうか。教職をまもなく去る今、振り返ってみたい。

私のあこがれの職業は、力士であった。子ども時代の私にとってのヒーローが「初代・若乃花」だった。一瞬の上手投げで、大きな相手を土俵に転がす勇姿をテレビで見て興奮していた。初めて覚えた漢字が、力士のしこ名だった。中学校時代はバスケット部で、高校時代は家の手伝い（農業）の関係で部活には入らなかったが、力仕事で身体を鍛えたつもりである。

ようやく東京の大学に入ることができ、あこがれの相撲部に自分から入部した。文京区本郷にあった「木瀬部屋」を借りて稽古をしていた。ところが、最初の稽古を見て退部を決意した。目の前で見た稽古は、想像以上に迫力があったからである。私が授業を受ける教室の入口で待機する先輩の必死の引き留めや監督の一言「男が一度決めたことは、やり遂げるのが本当の男だ」で退部を撤回した。木瀬部屋は当時、午前中は青葉山や天剛山などのプロの力士が稽古をし、午後は相撲愛好家に土俵を開放していたのである。立ち合いで頭からぶつかる恐怖やぶつかり稽古の苦しさは相当きついものがあった。部員が少なかったため、1年生の秋からレギュラーで大会に出ていた。相手の圧力に屈し、なかなか勝てない時期が続いた。ところが、2年生の秋、大阪での全国大会で学生横綱候補に一回戦で勝利することができた。3年生の秋は、全国大会でベスト32選手に入ることができ、4年生では、部員が少なかったこともあるが主将を任された。

私は、母校（北条中学校）での教育実習を経験し、教員を目指すことにした。やりがいのある仕事だと思ったことと、子どもに相撲の指導ができると思ったからである。初任校である三条・裏館小、2校目の見附第二小、そして教頭として2校目の白根・庄瀬小では、私の赴任早々に本格的な土俵を造ってくれた。つまり、相撲を通して子どもたちの心身を鍛えてほしいという地域の願いがあったのである。特に、庄瀬では私が赴任した平成11年度に第1回ちびっ子相撲大会を開いたが、今でも地域と学校が連携しながらお盆の恒例行事として続いている。

私は、中越地震と中越沖地震の2つの大きな地震を経験したが、ぶつかり稽古と同じだなあと思っている。七転び八起き精神である。子どもたちには、ぜひ自分の夢を追ってほしいと願っている。実現するかもしれないからである。

～以上のことは、私が大洲小学校長在任中、当時の5年生と6年生に話したことである～

■ 研修講座より

手段としての「言語活動」をもっと活用しよう！

◆10/23(火)言語活動を生かした授業づくり

文部科学省、田村学調査官をお招きしてのこの講座は、「言語活動を生かした授業作り」というテーマで行いました。大勢の参加者がいらっしゃいましたが、その一人一人に優しく語りかけるような話し方が印象的でした。

五輪選手も、自身の言語活動で成長を遂げてきた

冒頭、柏崎市の先生方への思いを語られながら、ロンドン五輪の選手コメントで印象に残った言葉を受講者へインタビューする場面から講座に入られました。その中で選手の日々の「振り返り」がいかに成長を促していたかに言及、「やらされる練習」から「自ら考える練習」に変化させていった事例を説かれていました。つまり、私たちは「自分の行動を自分の言葉でいいねいに振り返る「言語活動」を行うことで、変容を図ることができる」ということです。



文部科学省教科調査官 田村 学 様

「読む」「書く」「話す」「聞く」、すべてが大事な言語活動

ワラジムシとダンゴムシの違いを観察、記録、まとめた子どものノートを紹介しながら、言語活動の充実が、自分の学びを自覚化し、仲間と共有化することに繋がることを強調していました。さらに、言語活動には音声言語（「聞く」「話す」）や文字言語（「読む」「書く」）があり、いずれも重要、と語っていました。

言語活動というと、意見交換のようなやりとりが頭に浮かびますが、観察や体験したことを、自分の頭の中で言葉として捉え言葉でつぶやいたり、文字で書き表したりすることも大事な言語活動です。このお話の最後では、言語活動には6つの中身（①体験から感じ取ったことを表現する、②事実を正確に理解し伝達する、③概念・法則・意図などを解釈し説明したり活用したりする、④情報を分析・評価し、論述する、⑤課題について、構想を立てて実践し、評価・改善する、⑥互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えに発展させる）を確認する場面がありました。

手段としての「言語活動」

言語活動は、教科の基礎基本の「習得」のため、習得した事柄を「活用」して思考力・判断力・表現力を高めるため、一時間の授業や単元のねらいに迫るため等の手段としてあるということを解説されました。「総合的な学習の時間」でも、言語活動は「探求」していく際の手段であることを説明されていました。これらのことを意識して、単元や一時間ごとの授業を構想していくことが大事とも語っておられました。

習得したことを言語活動を通して繰り返すアウトプットの重要性

さらに、アウトプットを繰り返していくことの重要性を40問のスワヒリ語記憶テストの事後指導の例に触れながら説明、短期記憶が良好だからといっても、繰り返していかなければ長期記憶には移行していかないことに触れつつ、このアウトプットする際の活動も言語活動であることを強調していました。

田村調査官の講座は、伝えたいことを必要最小限の情報に絞って焦点化し、それを視覚化、受講者同士での共有化も図りながら進みました。そんな分かりやすい配慮に満ちあふれた講座を、受講者は安心して心地よく受けることができました。最後に、第三中学校の吉野先生や瑞穂中学校の小林先生からは今後の研究や授業作りに向けた質問もあり、明日からの現場で直接的に生きる講座となりました。

様々な学びに活用できる、それが教科の基礎基本

◆10/24(水)新学習指導要領に基づく実践紹介(社会)

内郷小学校、校長 茂木徹先生をお招きしてこの講座は、「新学習指導要領に基づく実践紹介(社会)」というテーマで行いました。前半は社会科で身に付けさせたい基礎基本についてのお話がありました。そこでは、発見技能、調べる技能、書く技能、考える技能、話し合う技能などに触れられました。そして、それらの基礎基本を実際に育む場面について「地図帳」を用いて説明されました。たとえば「この地図、おかしくない?」というテーマで、能登半島や佐渡島などがない地図を提示し、子どもの思考を喚起するような課題提示についても紹介があり、参加者が演習を行う時間とっていただきました。



柏崎市立内郷小学校長 茂木 徹 様

参加者の感想には「教科の基礎基本とはいったいどんなことを指すのかが分かった。単元を通じて、これを習得しなければ、課題に立ち向かうことができない、と思うような基礎基本が大事だと言うことがわかった」など、授業者としての構えを改めて確認できる研修となりました。

シンプルに「学ばせたかったこと」の検証を！

◆11/2(金) 子どもも教師も元気が出る授業づくり

岡山大学大学院、佐藤暁教授をお招きしてこの講座は、「どの子もこぼれ落とさない授業づくり」というテーマで行いました。

子どもは学んだことしか語れない

私たちの授業は、とかくしゃべりすぎて、子どもの側になったとき、実際の学びが教師が思うほどなされていない、との指摘を受けました。子どもが学べたときは、自分の言葉で語るようになるはずだから、授業の終わりに語らせてみることも提案されました。

また、学習課題を媒介に、子ども同士も繋ぎながらしっかりと学ばせる必要があること、さらには、特別な支援を要する子どもに対してだけでなく、発展的な学びを深めていきたいという子どもの対応もしっかりやることが求められていること等もご教示されました。



岡山大学教授 佐藤 暁 様

柏崎小学校、井上高志教諭の国語授業を、職員で振り返る。～学ばせたかったことは？～

柏崎小学校、井上高志教諭の国語(小学校3年生)の授業公開に基づいた職員研修として講座は進みました。そこでは「ねらい」という表現を「子どもに学ばせたいこと」と言い換えて研修がスタート、授業は先生の満足感ではなく、子どもが学んで、姿が変わってナンボ、という佐藤先生の持論をもとに、「学ばせたかったこと」に対する学習課題は本当に適切だったかどうか、について検討がなされました。

また、実際に学んだこと、学び損ねたことについて、実際に教室で起こった事実に基づいて検証することがとても大事、と力説していらっしゃいました。さらに、この一連の過程を、シンプルに、頻繁に、時間をあまりかけずにやっていくことが大事であるとも語っておられました。

参加者からは「学ばせたいことを、誰が見てもわかりやすくシンプルにシャープにして授業を組み、十分吟味した学習課題を提示する必要があると改めて感じた」「教師の意図する学びがきちんとできていたか、できていなかったか、を同僚との授業公開や振り返りの会を頻繁に行うことを通して検証し、一教師として、学校として成長していきたい」という記述がありました。講座内容を端的に表す感想で、同様の感想が多数ありました。(柏崎小学校の先生方には大変お世話になりました。)

子どものために、きちんとカリキュラム化する

◆11/9(金)幼保小での学びの連携

上越教育大学、木村吉彦教授をお招きしてのこの講座は「接続期カリキュラム作成に向けて ～アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムとは」というテーマで行いました。幼児教育と小学校教育の差異点を、目的論（幼：方向目標、小：到達目標）、方法論（幼：間接教育、小：直接教育）、評価論（幼：個人内評価、小：絶対評価）の3つの視点で、具体的な事例を出しながら講座を進められました。

スタートカリキュラムの部分では、先進的に取り組んでいる学校の事例を紹介しながら、「学校が楽しいと思えるような活動をさせ慣れさせていく活動」を他教科等との時数的バランスを考えながら「意図的」にカリキュラムしている事例を紹介してくださいました。

最後に、教育とは「引き出しを開ける」ということ、という考えに触れながら、子どもたちの内なる力を引き出すことの大切さを力説されていました。

参加者の感想には「幼保小の連携はまだまだ学校間で温度差がありますが、木村先生のアプローチカリキュラムとスマートカリキュラムをどの地域でも当たり前のように実施していくことが大事だと感じた」等、今後の幼保小の一層の連携につながる記述が多く見られました。



上越教育大学教授 木村 吉彦 様

ダイナミックな単元開発を。竪穴式住居もつくったよ！

◆11/13 (火) 新学習指導要領に基づく実践紹介(社会)

春日中学校、柳澤一輝先生をお招きしての講座でした。前半では教育の目的、学力の定義などについて触れられました。「新学習指導要領は教務室まではやってくるが教室までは届かない」という印象的な言葉を掲げ、体験を重視したダイナミックな単元を構成することの必要性を説かれました。

「古代の謎を推理する（歴史）」では各自がテーマを追求し、実際に校庭に竪穴式住居を作ったダイナミックな事例から学ぶことができました。また、自校では学力向上とは言わず授業力向上と呼び、実効性の高い取組になるようにしていることを紹介されました。最後に、自身の授業分析を「分解の木」として樹形図方式でいくつも洗い出し、実行のしやすさと効果の大きさを二次元表に落とし込んで改善していく方法にも触れていただきました。



上越市立春日中学校教諭 柳澤 一輝 様

一人の子どもの死を、絶対に無駄にはできない！ ◆ 11/14 (水) 子どもの虐待防止講演会

国立成育医療センター、奥山眞紀子様をお招きしてのこの講座は「こども虐待の現状と援助～地域での虐待防止～」というテーマで行いました。

冒頭、2004年から社会保障審議会児童部会での虐待による子どもの死亡事例の検証が行われるようになったことに触れ、「亡くなった子どもから学ぶことが、その子の死を無駄にしないこと」とのお話をいただきました。また、身体的虐待が6割～8割、残りがネグレクトになること、ただし3歳未満ではその割合は増加しているとの報告がありました。

さらに、虐待の要因の中には、望まない妊娠、母子手帳の未発行、妊婦健康未受診などが多いということにも触れ、これらへの対応が未然防止策の鍵になることから、妊婦へのメンタルヘルス、母親や家族への産後の在宅支援、地域との協働による支援について強調されていました。まとめとして「予防は究極の対応」「虐待対応は人を頼りにしてはダメ。まずは自分で動く、そしてチームの動きにしていける」等の重要キーワードを印象深く紹介されていました。



国立成育医療センターこころの診療部部長
奥山 眞紀子 様

■ 12月の講座

日時	講座名 / 会場 / 講師
12/4(火) 15:00-16:45	No.4 【国語】新学習指導要領に基づく実践紹介(国語) ◆柏崎市立教育センター 多目的研修室 ◆上越市立直江津中学校 教諭 石野 秋広 様
12/6(木) 15:00-16:45	No.40 【保健体育・保健指導】ニュースポーツ ◆柏崎市立総合体育館 ◆スポーツ推進委員協議会
12/6(木) 14:00-16:30	No.112 【学校事務】組織的な事務部経営計画について ◆柏崎市立教育センター 多目的研修室 ◆燕市立燕東小学校 教頭 二平 芳信 様 事務主幹 平澤 由美子 様
12/11(火) 15:00-16:45	No.73 【道德教育】家庭・地域とともに進める道德教育 ◆柏崎市図書館 ソフィアセンター ハイビジョンホール ◆柏崎市立榎原小学校 校長 若林 勝 様
12/11(火) 15:00-16:45	No.82 【養護教諭】性教育 ◆柏崎市立教育センター 多目的研修室 ◆東京医療保健大学 准教授 渡會 睦子 様
12/12(水) 15:00-16:45	No.94 【施設活用】ソフィアセンターを使った平和学習資料活用 ◆柏崎市図書館 ソフィアセンター ハイビジョンホール 会議室 ◆ソフィアセンター 職員
12/13(木) 15:00-16:45	No.15 【算数・数学】新学習指導要領に基づく実践紹介(数学) ◆柏崎市立教育センター 多目的研修室 ◆中越教育事務所 指導主事 宮嶋 博 様
12/18(火) 15:00-16:45	No.103【柏崎の教育 3・3・3 運動】柏崎の教育 3・3・3 運動の推進 ◆柏崎市立教育センター 多目的研修室 ◆柏崎市立日吉小学校 教頭 小池 尚志 様
12/25(火) 9:30-11:30	No.69【特別支援教育】スクールサポート事例研修会Ⅱ ◆柏崎市立教育センター 多目的研修室 ◆柏崎市教育委員会 上松 武 指導主事
12/26(水) 13:00-15:00	No.31【理科における小中一貫教育】 ◆柏崎市立教育センター 多目的研修室 ◆柏崎教育委員会 品田やよい 管理指導主事

■新しく日程が決定した講座

1/10(木) 15:30-16:45 (予定)	No.29&30 【理科】新学習指導要領に基づく実践紹介(理科) ◆柏崎市立教育センター 多目的研修室 ◆長岡市立和島小学校 教諭 西山 晴美 様 上越市立城北中学校 教諭 保坂 修 様 ★教職員理科発表会(13:40～予定)と同日開催します。 可能でしたら両方にお越しください。
--------------------------------	---



わたしたちも
お邪魔します！

「柏崎の教育を語る会」は、

平成25年2月16日(土)午前中に開催予定です。
場所は新潟産業大学講堂と各教室です。

今年は子どもたちも含め、さまざまな立場、年齢層の方々からお越しいただき、これからの柏崎の教育を語っていきます。ぜひ、ご参加ください。

■ 柏崎教育情報支援システム/コンテンツサーバ情報

講習会のテキスト、資料を登録しました

◆ 柏崎市教育情報支援システム／講習会テキスト

実施日	講座名／資料名
10/18	139_長尺印刷入門 長尺印刷入門.pdf (テキスト第 10 版) 利用手順フローPXF8000.pdf (主な使い方の流れ図)

◆ コンテンツサーバ(スクールオフィス)

実施日	講座名／資料名
11/15	スクールオフィス成績管理中学校設定編 NO25_中学校成績管理設定編.pdf (テキスト第 1 版) スクールオフィス成績管理の流れ中学校.pdf
11/28	スクールオフィス成績管理中学校作成編 NO26_中学校成績管理指導要録様式 1 作成編.pdf (テキスト第 2 版) NO27_中学校成績管理通知表作成編.pdf (テキスト第 1 版) NO28_中学校成績管理指導要録様式 2 作成編.pdf (テキスト第 1 版) スクールオフィス成績管理のデータ関連図中学校.pdf (補足資料) 指導要録の出力項目.pdf (補足資料) 通知表のデザインサンプル-中学校.pdf (補足資料)
	Windows7 の導入、スクールオフィスの改修に伴う修正 NO5_利用者講習.pdf (テキスト第 4 版) 年度更新チェックリスト.pdf (補足資料第 3 版) NO21_小学校成績管理設定編.pdf (テキスト第 3 版) NO22_小学校成績管理指導要録様式 1 作成編.pdf (テキスト第 3 版) NO23_小学校成績管理通知表作成編.pdf (テキスト第 3 版) NO24_小学校成績管理指導要録様式 2 作成編.pdf (テキスト第 3 版) 通知表のデザインサンプル-小学校.pdf (補足資料) 小学校成績管理コピー貼り付け用サンプルシート.xlsx (補足資料)

■ 情報関連講習会のご案内

12 月に実施される講習会

◆ H24.12.7(金) スクールオフィス成績管理小学校指導要録様式 2 作成講習

スクールオフィスの成績管理サブシステムにより、指導要録様式 2 を作成するための設定と、作成手順について学習します。この講座は小学校の教職員が対象です。

◆ H24.12.18(火) 疑問やトラブルに答える フリーQ&A その7

ICT 活用に関すること、パソコンのトラブルや疑問など、自由に相談できる機会を設けました。他の講座のような事前申し込みは不要ですが、前日までにメールや電話で相談内容をご連絡ください。

■ スクールオフィス情報

仮年度更新は実施しましたか？

スクールオフィスでは、次年度の準備のために「仮年度更新」機能が用意されています。これは、次年度の行事予定や年間校時などを準備しておく領域を作成するものです。仮年度更新を行わない場合、新年度になってから全ての登録を行わなければなりません。仮年度更新を行っておくことで、事前に登録しておくことができます。「年度更新」を実施する際、仮年度に登録しておいた行事などの情報を新年度の情報として引き継ぐことができます。

プロジェクト K

柏崎刈羽地区科学技術教育センターだより

研修会・事業の様子

○ 中学校『放射線教育研修会』（10月18日実施）

◇講師 舟生 武史 様
(e-サイエンスコミュニケーション)

◇会場 原子力広報センター

◇内容

今年度、各小・中学校に配布された副読本を活用するため、中学校で理科を担当している先生や、管理職の先生方に集まっていただき研修会を行いました。

放射線を測定する機器を使って自然放射線の測定や放射線の飛跡の観察等の実験を行いました。霧箱を使うと少量ではありますが自然放射線を見ることができ、本当に空気中を放射線が飛んでいることを実感することができました。

また、事故などで多量の放射線が出てしまったときの命の守り方「時間を短くする・遮蔽する・距離をとる」を学びました。

放射線の性質を知り、放射線の正しい知識をまず大人がもち、子どもたちに伝えていくことが必要なのではないかと考えます。ぜひ、来年度も研修にご参加ください。



霧箱実験の説明

○ 生活科「秋のあそび」（10月19日実施）

◇会場 夢の森公園

◇内容

前半、夢の森公園のスタッフの遠藤さんから夢の森公園でできるネイチャーゲームを紹介していただき、体験しながら夢の森公園の活動を楽しみました。子どもたちの自然を見る目や楽しむポイントを教えていただきました。

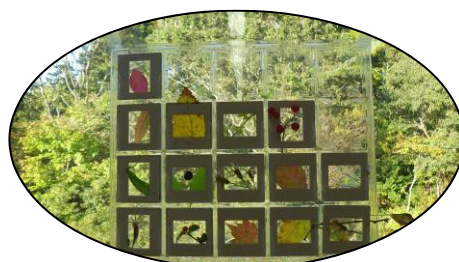
後半は、実習室で、秋の木の実や植物を使ったものづくりをしました。また、夢の森公園で行いたい教育活動はどんなことか意見を出し合いました。



夢の森公園内ツアー



お気に入りの木の実あつめ



透明シートにスライド枠をはめ込み、秋のアートの出来上がり

○ 小6「地層巡検」比角小学校 要請研修（10月29日実施）

◇会 場 聖ヶ鼻駐車場・米山海水浴場

◇内 容

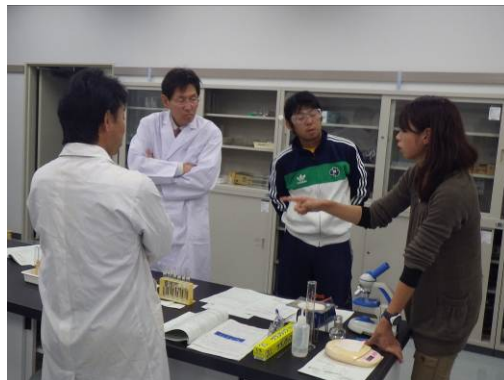
比角小学校の6年生が、2グループに分かれて学習しました。「しましまに見えるわけは何だろう」「どんなでき方をしたのだろう」「柏崎の大地ができたころはどんな環境だったのだろう」など、観察しながら考えました。天候に恵まれ、何とか予定の計画どおり学習することができました。実物を見て触り、話を聞きながら長い歴史、地球の大きな力を感じたひとときでした。

○ 小6「水溶液の性質」研修会 （10月30日実施）

◇内 容

準備が大変！危険が伴い指導しにくい！と感じる先生方が多いこの単元は、たくさんの薬品を扱い、実験観察が多いのが特徴です。こんな日頃の悩みや不安点を少しでも解消できるようにと研修を組みました。

薬品の調整の仕方や安全に実験をする方法など、予備実験をしながら確認していきました。また、この単元で使うワークシートや授業の流し方を提案させていただきました。



導入の仕方について議論中

備品紹介

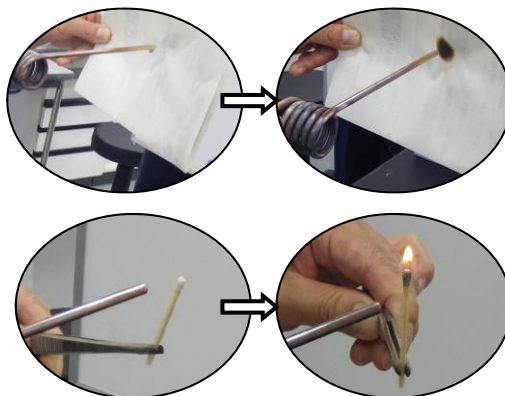
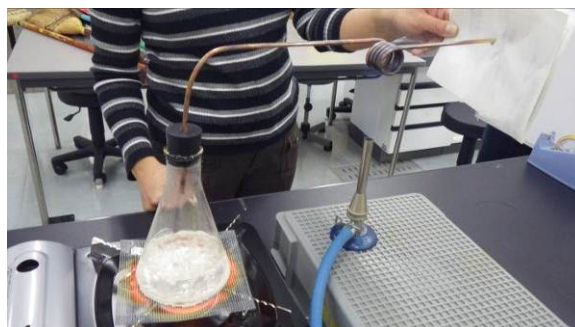
銅管装置

水は温度によって固体（氷）⇄液体（水）⇄気体（水蒸気）と、その姿を変えます。

ふつう水は火を消すときによく使われます。しかし、気体の水（＝水蒸気）なら、100度をはるかに超える温度にすることができるため、物が燃える温度まで加熱することができます。

中学校の先生方、ぜひ、学校でこの現象を生徒に見せたくありませんか？

センターではこの実験に使う銅管装置を作成しました。この装置を使うと水蒸気が400度を超えます。やけどに気をつけてぜひ活用を！ご要望があればお作りします。業者を通して買えば、フラスコつきで3500円以上するものを400円かからずに作れます。いかがですか？



アルコールランプ

ライオンズクラブから西蒲・燕科学教育センターに寄贈された2600個のアルコールランプのうち、150個のアルコールランプを当教育センター科学に分けていただきました。「アルコールランプが古くなっていて・・・」「アルコールランプの数が足りないのだけど・・・」という学校はありませんか？理科センターまでご連絡いただければお分けすることが可能です。必要な学校がありましたら、ぜひご連絡ください。

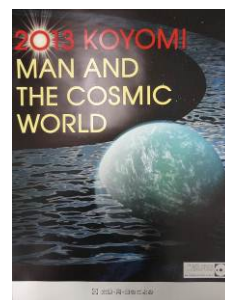


太陽・月・星のこよみ

学習資料や教材に利用できるこのカレンダー。理科室の掲示にどうですか？

きれいな写真付きのこのカレンダーが部屋にあるだけで大きな宇宙がそこにあるように見えます。空を見上げる児童生徒が増えるかもしれませんね。また、カレンダー一枚一枚の裏側には、地球の環境についての記述や、観察の際の留意点、各月の天象に関する見どころなど、情報満載のカレンダーです。

学校の方へも購入申し込み用紙がいつているかと思います。それで申し込まれてもよいですし、理科センターに問い合わせただいてもOKです。ご確認ください。



青少年のための科学の祭典2012 (11月17日実施)

ご協力・ご来場ありがとうございました！

♡子どもも大人もにっこりの一日♡

11月17日(土)、恒例の科学の祭典を新潟工科大学で開催しました。夢の森公園、原子力広報センター、海洋生物環境研究所の職員の方々、新潟工科大学・柏崎工業高校・柏崎高校の先生や学生・生徒の皆さん、柏刈地域の教職員の皆さんなどからご協力いただき無事終了しました。秋の祭典は、春の祭典のように工科大学の学祭とダブル開催ではなく単独開催でしたが、1,100人もの来場者を迎えることができました。子どもも大人も目をキラキラさせながら、さまざまなブースで科学体験をしていました。今回の祭典で一番印象的だったのが、ブーススタッフと来場者との目と目を合わせた対話です。あったかい雰囲気の中で身近にある科学現象の不思議さ、科学の視点、ものづくりの楽しさを伝え、子どもたちの興味関心を引き出してくださっていました。

来年度も科学の祭典を実施する予定です。ぜひ、多くの先生方にスタッフとして参加していただきたいと思います。ちょっとした時間にできる科学工作のネタを入手するだけでなく、ふだん学校で見せている顔とは少し違った子どもたちの顔に出会え、新鮮な気持ちをもつことができます。奮ってご参加ください。



お昼の実験ショー



オープニング実験ショー

オープニング(10:00～)とお昼(13:00～)に実験ショーを行いました。今回は「大気圧ってすごい！」と「iPS細胞って何だろう？」でした。

朝の実験ショーはダイナミックな見せ物を！ということで大気圧を利用してボウリングの玉を浮かせて見せました。なんとか成功！拍手が沸きました。そのほかにも不思議現象を目の前で次々と・・・子どもたちの驚いた真ん丸の目が印象的でした。

お昼のショーは、今話題のiPS細胞についてアンパンマンの寸劇を入れながら伝えました。難しい内容ですが「なるほど～！そういうことか。」と、すんと子どもたちにも理解できるよう工夫してみました。ノーベル賞になるほどすごい研究だということが伝わってくれていたらうれしいです。

来年も「実験ショー」喜んでいただけるよう頑張ります！



～来場者さんにインタビュー～



日吉小学校3年生女の子二人組

○実験ショーで今まで知らなかったことがいっぱいあって、おもしろく、しかもわかりやすかった。
ボウリングの玉が浮くなんてびっくりした。

○アイスクリームは前にもやったことがあるけど、やっぱり楽しい。
ここでやったことを学校でもやってみて楽しんでいます！

○海藻をきれいにのせて、工夫してしおりがくれました。

柏崎小学校6年生



○科学の祭典には何回も来ています。今回もいろんな科学工作があってとっても楽しかった。
オープニング実験ショーの「大気圧」がわかりやすくてよかった。

剣野小学校1年生

○ふしぎ万華鏡が気に入った。きれいでびっくりした。

～フーススタッフにインタビュー～

○「わあすごい」「なんで」など子どもたちの素直な感想を聞いたり笑顔を見たりしていると、自分も
やっていて楽しいし、うれしい気持ちになります！（工科大学学生）

○子どもの興味関心にあふれた一日でした。日々の授業の中でも大切にしたいと感じました。（教職員）



○小学校4年生「ものの温まり方」

◇日時 11月30日（金） 15:00～16:45

◇内容 固体の熱の伝わり方と気体の熱の伝わり方の違いを実験を通して比較し、もののあた
たまり方についての見方や考え方を養い、実感を伴った理解を促す指導について研修
します。サーモカメラを使う授業の提案も行います。

○上越理科を語る会

◇日時 12月2日（土） 14:00～（受付13:30～）

◇会場 高陽荘

◇講師 上越教育大学大学院教授 天野 和孝 様

◇演題 「地球を食べる生物の化石を追い求めて～上越から世界へ～」

興味のある方は教育センター科学（TEL20-0212）まで連絡ください。申し込みします。



心の窓

No.159

〒945-1355

柏崎市大字軽井川4803-2

TEL 0257(23)4591 (代表)

FAX 0257(23)4610

子どもの成長を促す3つの方法

保護者や教師、そして私たちのような教育センターに勤務する相談員や指導員など、子どもとかかわる私たちの願いは、“子どもの発達と成長”ではないでしょうか。発達とは、身体的な意味合いが強く、成長とは心理的な意味合いが強いと言われています。そして、両者は車の両輪のような関係性であるとされています。

教育センターにおけるカウンセリングは、これらの中の心理的側面における成長を促すことに通じていると感じています。これは、言葉を換えると子どもたちに“じりつ”を促すといっても良いと思います。“じりつ”を ひらがなで書きましたが、この言葉には2つの意味が含まれています。その1つは、“自立”の漢字で示される“じりつ”です。これは、子どもたちが職業（＝経済的という意味を含みます）・民主的な国家を形成する一市民・趣味や特技を持つ文化的存在という意味で使われています。そしてもう1つは、“自律”の漢字で示される“じりつ”です。これは、自分で自分を律していける力、自己中心的なわがままを抑え、みんなで協働していけるような力を身に付けるということです。学習指導要領の言葉でいえば、規範意識を身に付けるということに繋がります。

では、子どもたちの“じりつ”を育てていくには、どのような方法があるのでしょうか。大きく別けると3つの方法が考えられます。その1つは、行動主義といわれる方法です。これは、私なりの言葉でいえば「先に形（＝行動）を作っていく。中身（＝気持ち）は後から付いてくる」という発想があります。そのため、子どもたちには“まず、やってみよう”という働きかけを行っていくものです。何もわからない子どもでも、わからないなりに大人の支援のもとでやってみる・行動してみる。それを積み重ねるうちに、気持ちも形成されていくという考え方です。それに対して、心理主義といわれる方法もあります。これは、心の核づくりを重視しています。少し難しく表現すれば、子どもの自熟を待つということになります。保護者としてしっかりと愛着を結んだ子どもは、帰れる心の基地を持つことで自発的・主体的な行動が表れるという発達の順序性を拠り所としています。皆さんは、どちら

の考え方がフィットされますか？

私は、もう一つの方法があると考えています。もしかすると、ズルいと言われるかもしれませんが、その両者の良いところを取り入れていく折衷主義の考え方（方法）です。その時々や子どもの状態に応じて、より良い方法をチョイスしていくという考え方です。

必要なのは、子どもたちが成長＝“じりつ”していくことをどのように支えられるかということではないでしょうか。

（相談員 松井理納）



サツマイモ掘り、調理実習



10月22日にサツマイモ掘りをしました。今年たくさんのごちそうを提供してくれた畑もいよいよ最後の収穫です！もともと草むらだったところを耕して畑にしたので、土が粘土質で決してサツマイモに適した土ではありませんでした。真夏の炎天下でもツルは元気でしたが、ちゃんとイモが出来ているのかどうか？



掘り進めていくと「あっ！イモあった！」、「ここにもあった！」と次々とイモが見つかりました。通級生もまるで宝探しのようになり夢中になって楽しそうにイモを掘り出していました。しかもどれも大きいイモばかり。途中で折らないように慎重に扱っていました。大きすぎてちょっと焼き芋には不向きかもしれませんが、もとは荒地だった畑でこんなに立派なイモができるんだという驚きでみんな感動していました。一番大きなイモはなんと1.7kgもありました！



そして、11月13日にサツマイモを使った調理実習を行いました。今回は半田コミュニティセンターの調理室、そして何と石焼イモの窯まで借りることができました。みんなで協力して、大きなイモは加熱した後マッシュしてスイートポテトや茶巾蒸しにしました。甘さ控えめでイモ本来の味が際立っておいしく頂きました。また、細身のイモは、半田コミセンの斉藤センター長のご指導のもと石焼きイモにしました。こちらもプロ顔負けの本格的な仕上がりで大いに楽しむことが出来ました。ご協力いただいた半田コミセンの方々と秋の味覚に感謝です。



(ふれあいルーム指導員 寺澤 朋法)



教育相談班 12月の予定

《カウンセリングルーム》

いろいろ体験グループ (SST)

- 7日(金) 16:30~17:30 小学生Aグループ
- 14日(金) 16:30~17:30 小学生Bグループ
- 21日(金) 16:30~17:30 小学生Cグループ
- 25日(火) 18:30~20:00 中学生第1グループ
- 26日(水) 18:30~20:00 中学生第2グループ



《ふれあいルーム》

- 4日(火) スケート教室 ①
- 7日(金) ソフィアセンター
- 13日(木)・14日(金) 保護者面談
- 18日(火) そば打ち体験
- 21日(金) 後期前半通級終了

12月の行事予定表

日	曜	研修・行事・会議
1	土	
2	日	
3	月	後期研究主任会
4	火	研：新学習指導要領に基づく実践紹介(国語)
5	水	
6	木	研：ニュースポーツ(総合体育館) 研：組織的な事務部経営計画について
7	金	情：スクールオフィス成績管理小学校指導要録作成講習 相：SST小A16:30- ふ：ソフィアセンター10:00-
8	土	
9	日	
10	月	相：班会議13:00-
11	火	研：性教育 研：家庭・地域とともに進める道徳教育 (ソフィアセンター) ふ：スケート教室9:30-11:00
12	水	研：ソフィアセンターを使った平和学習資料活用(ソフィアセンター)14:00-
13	木	研：新学習指導要領に基づく実践紹介(数学) ふ：保護者面談(13日-14日)
14	金	相：SST小B16:30-
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	研：柏崎の教育3・3・3運動の推進 ふ：そば打ち体験(半田コミュニティセンター)AM
19	水	
20	木	
21	金	相：SST小C16:30- ふ：後期前半通級終了日
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	研：スクールサポート事例研修会Ⅱ9:30- 相：SST中①18:30-
26	水	科：理科における小中一貫教育 相：SST中②18:30-
27	木	
28	金	(御用納め)
29	土	
30	日	
31	月	



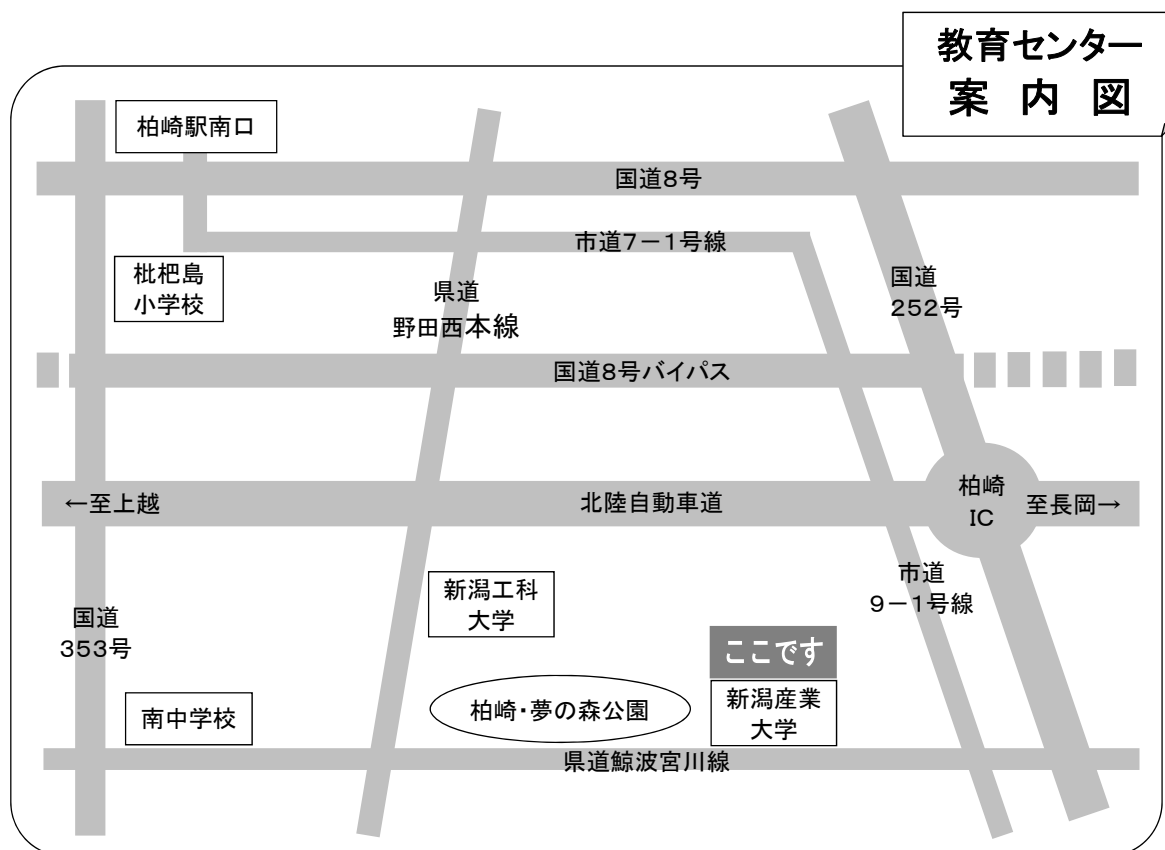
四季を通じて

ふれあいルーム指導員 須藤 直子

自然に囲まれた職場のおかげで、今年は四季の変化をより深く感じ、楽しむことができます。

春の桜から始まり、夏は青々としていた銀杏の木が今は黄色く秋色に染まっています。ただ、タヌキ、ウサギ、ヘビといろいろな生き物に出会える場所だけあり、通勤時間も少々長くなりました。毎朝、バタバタと家を出てくるので、好きな音楽を聴きながらの通勤は少しホッとできる時間でもあります。そして、車中からの楽しみがもうひとつ…。毎朝、くねくね曲がる急な坂道を汗をかきながら、一生懸命自転車で上ってくる高校生の頑張っている姿を見ることがです。人が頑張っている姿を見ると、自分もエールをもらったような気持ちになり「今日も頑張ってるね。私も頑張るぞ!」と、すれ違う高校生に私からもエールを送っています。その高校生も夏服から冬服に衣替えをし、風が冷たくなってきたこの頃はマフラーが加わりました。自転車通学どこまで頑張るんだろう…母のような気持ちで見守りながら、車のミラー越しに見送ります。

教育センターのドアにカマキリが卵を産みました。地上110cmの高さ…大雪になることを予言しているのでしょうか。たとえ大雪の中の通勤になろうとも冬景色を楽しみ、春を待ちたいと思います。



〒945-1355 柏崎市大字軽井川4803番地2（新潟産業大学キャンパス内）

※路線バスは、柏崎駅南口から新潟産業大学行きをご利用ください。

※車でお越しの方は、キャンパス内では徐行をお願いします。

教科書センター利用案内

柏崎刈羽の小・中学校で
 使用している教科書のほか、各
 教科書会社の小・中学校の教
 科書各2冊、高等学校の教科
 書各1冊を備え付けていま
 す。どなたでも閲覧するこ
 とができるほか、小・中学校
 の教科書は、閲覧だけでなく
 貸出も行っています。各教科
 書会社の学習内容の取り扱い
 の比較、授業研究のための教
 材研究などに役立ててはいか

教育センター代表TEL:0257-23-4591

代表FAX:0257-23-4610

E-mail:k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育研究班・情報教育TEL:0257-23-1168

E-mail:kec@kenet.ed.jp

教育研究班(科学技術教育)TEL:0257-20-0212

E-mail:kagaku@kenet.ed.jp

教育相談班(カウンセリングルーム)TEL:0257-32-3397

E-mail:soudan@kenet.ed.jp

教育相談班(電話相談)TEL:0257-22-4115

青少年育成センターTEL:0257-20-7601

E-mail:ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育情報支援システム URL:http://kedu.kenet.ed.jp

平成24年11月発行